

令和 2 年度 事業計画

令和 2 年 3 月 2 0 日
わきはまこども園

1、こども園の運営

所在地 貝塚市脇浜 3 丁目 3 1 - 8

定員 (2 号・3 号) 8 0 名 (実数 8 8 名)

0 歳児 4 名 1 歳児 1 2 名 2 歳児 1 6 名

3 歳児 1 9 名 4 歳児 1 8 名 5 歳児 1 9 名

定員 (1 号) 9 名 (実数 7 名)

3 歳児 1 名 4 歳児 4 名 5 歳児 2 名

職員定数 2 4 名

(委託給食の為調理員の数は含まない。)

2、保育目標

- ・ あいさつができる子の育成
- ・ 思いやりのある子の育成

(1) 開園時間 午前 7 時 ~ 午後 7 時

基本保育時間 (2 号・3 号) 午前 9 時 ~ 午後 5 時

午後 6 時 ~ 午後 7 時 (保育標準時間認定者は延長保育料金徴収)

午後 5 時 ~ 午後 7 時 (保育短時間認定者は延長保育料金徴収)

基本教育時間 (1 号) 午前 9 時 ~ 午後 1 時

午後 1 時 ~ 午後 3 時半 (希望者は保育時間とする)

午後 3 時半 ~ 午後 5 時 (延長保育料金徴収)

(2) 運営・教育・保育の内容

幼保連携型認定こども園としてスタートしてから3年目となり、益々充実した保育、教育に力を入れていきたい。増改修工事にかかる園児の部屋移動等を考慮し、受け入れ園児数を抑えながらも、特に待機児童数の多い1歳児の入園希望者を可能な限り受け入れた。また定員増を予定している一年後も見通した上で各歳児の受け入れ希望人数を貝塚市保育こども園課に提出し、結果、希望通りの人数で決定し、今年度は途中入園を受け入れることなく年間通じて安定し、余裕のある運営、保育教諭の配置、教育、保育が見込まれる。今年度は、一年間の予定で保育教諭1名が同法人の、おおぞらこども園に出向し、一年間おおぞらこども園に出向していた保育教諭2名がわきはまこども園に戻る。また9月1日付で、育児休暇あけの保育教諭1名が復帰する。また、今年度途中(7月半ば)から保育教諭1名が産前休暇に入る予定である。全保育士が幼稚園教諭免許を取得しているので、職員配置のバリエーションが広がっている。

幼稚園免許更新該当者は、今年度はいない。

実習生に関しては短期大学生の受入れを中心とすることにし、大学生の受け入れは夏場の一大学のみとする。また夢体験事業として高校生を数日間受け入れ、将来の保育、教育従事者に対して様々な角度から力になる。

在園児については1号認定者が加えて新2号認定も希望するケースが増えてくると予想する。新2号認定を取得すると延長料金徴収額が一定額返還されるシステムだが、保護者の方と職員の負担のバランスを考えながら、長時間保育の料金を徴収しても1号認定として留まってもらうことに重きを置くか、2号認定に変更後、別の1号認定者を受け入れるか等、様々なパターンが考えられるが、ベターな方法を模索しながら今年度は様子を見ていく年度となる。一年後に1名増える1号認定の定数(10名)を満たすことが出来るよう、長期的な視野は持ちたい。障害児数は継続児3名である。保育士のキャリアアップの為の処遇改善の加算は、共に2020年度も続けられる見込みである。キャリアアップ研修は向こう2年間で必要な時間数の講習を必要な人材が受講することが必須であり研修については長めのスパンの計画も必要である。2020年度に

関しては、提示されている8分野のうち、 幼児教育の研修と 障害児保育の研修と 食育・アレルギー研修と 保健衛生・安全対策の分野の研修を受けることが出来る様、計画する。(8分野とは 乳児保育 幼児教育 障害児保育 食育・アレルギー 保健衛生・安全対策 保護者支援・子育て支援 保育実践 マネジメント) とりわけリーダー格の職員が複数のキャリアアップ研修を受講出来るよう、普段のカリキュラム設定を工夫する。

2020年度も日本古来の文化や季節を感じる行事を大切にす。昔ながらの童謡・唱歌を歌ったり、お手玉・あやとり等の昔遊びを楽しんだり、もちつきやそうめん流しなど伝統的な行事を行う。デイリープログラムについては、園児の年齢に応じ保育教諭と園長が協議し定める。2020年度も法人理念、園の方針に則ることを念頭におき、歳児別に年間テーマを設定した上で、子ども達の成長を一番に考慮した教育、保育を行い、年度末の研究保育発表につなげる。

【5歳児・・・見つけよう！日本と世界の良いところ】

【4歳児・・・絵本遊び・昔話を知る】

【3歳児・・・楽しく食べて、元気モリモリ】

【2歳児・・・なりきり表現遊び】

【1歳児・・・ふれあい遊び】

送迎時タッチパネルでの時間管理について、標準時間の項目と短時間の項目についてはより頻繁な変更が予想されるので、それに対応する。

サクラシステムの帳票類(教育、保育関係カリキュラム等)をより幅広く活用する。

2020年度については専門講師に頼ることなく、年間通じて絵画や造形に関して単発的な制作にとどまるのではなく、子どもの好奇心や興味を上手く引き出し、年長児には絵画展へ年2回の出展を促し、意欲の育みにつなげる。また、新園舎完成後の子ども達の作品をどう展示し見せるか等を想像しながら計画し、少しずつ取り組む。

運動については昨年度に続き、工事期間中ということもあり、制限が多い中、ドッジボールや縄跳びなど、体験出来る工夫を考える。また、おおぞらこども園園庭を使用させてもらう計画を実現し、交流のためのというスタンスのみな

らず、気軽に訪れることが出来る関係作りを目指す。

中学生の職業体験受け入れ後に、手作りの修了証書を渡すことにより将来の職業への明るい希望を持つ事が出来る手助けをする。

夏の夕涼み会の開催時季が酷暑となる予想から、5月の最終週の土曜日に『わかきはまこども園まつり』として初めて開催する。

貝塚いぶき作業所の方々といぶき祭りや陶芸体験等を通じて交流を持ったり、2020年度は新型コロナウイルス感染症流行により開催されなかった独居老人昼食会（いきいきランチの会）に今年度は参加し、世代間交流を図る。

地元小学校とは、津波想定避難訓練を実施し、いざという時の協力体制をつくる。園と小学校の縦の連携を強める為の働きかけを行う。

おおぞらこども園と5歳児同士の交流を年数回行う。

オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業が推進され、社会福祉法人のあり方をめぐり業界でも議論されている中、社会貢献支援員と連携し園長を含めスマイルサポーターが今後具体的にどう活動していくかを模索、検討する。常々依頼を受ける事が多い生活困窮者レスキュー事業であるが、事業の体質としては、生計困難者に対して日常の生活必需品若しくはこれに要する金銭を与える、又は生活に関する相談に応ずる事業として位置づけられるものである為、こども園の立場としては新境地を切り拓いていくような心境であり、戸惑いがあるが、本事業について特に大阪府下でも先駆的な役割を担っていることを自覚し、社会福祉法人のあるべき姿を常に意識する。

- ・ 月2回 3、4、5歳児体育指導 2時間（YTS スポーツクラブ所属指導員）
- ・ 月2回 4、5歳児英語指導 1時間（アメリカ人講師）
- ・ 年数回 4、5歳児習字指導 1時間（園主幹保育教諭）
- ・ 月2回 5歳児珠算指導 1時間（脇浜町内珠算指導員）

職員名簿、園児名簿は別紙。

食育計画は別紙。

年間行事計画は別紙。

研修計画は別紙。

(3) 担当

担当保育教諭を定め、園長は総括的指揮をとる事とする。調理担当は別。担当は、クラス単位でも定めるが、専門リーダーを含む係りの割り振りを行い、クラス以外の担当も担うことで、全職員で運営していくこども園を意識する。

2020年4月より副園長専任1名と主幹保育教諭2名となる。2名の主幹保育教諭は副園長から主幹としての仕事の委譲を受ける。また園長及び副園長の補佐を行う。

主幹保育教諭のうち1名は主に職員の指導、非常勤職員への滞りない連絡や給食会社との連携、園児や保護者全体の把握を元に取りまとめ等を行う。また実習生やボランティアの窓口となる。

主幹保育教諭のもう1名は、引き続き毎月定例の仕事、WEBに係わる仕事、書類作りを中心に園長の補助を行う。(園だよりやシフト表、年史づくり、増改修にかかる書類作成)又引き続き各種マニュアルを現状に則った内容に見直す。

平成29年度途中より委託した、淀川食品株式会社での給食も軌道にのり、管理栄養士も園内(事務所と調理室と保育室)での連絡調整、姉妹園との連絡調整に更に力を入れる。令和2年1月~週4日勤務から週5日勤務となった為、今までに出来なかった業務にも余裕をもって携わることが出来る。全てにバランス良く、離乳食も含めた栄養管理、アレルギー児も他園児と同じ給食を食べられる『なかよし給食』の充実、またはそれに付随する業務を行う。又、管理栄養士は、淀川食品株式会社の調理主任と連携をとり、多くの食材業者との連絡を更に密にし、入荷困難な材料の代替品に関して柔軟に提案を受け、バリエーションにとんだメニュー作りを心掛ける。

事務職員については、会計、経理関係を中心に、現在事務長が行っている実務の一部を遅滞なく行う。

体育は、例年通り YTS スポーツクラブに依頼し、年間通して指導を受ける。今年度より、6月に実施していた体力測定を止め、その分運動能力向上に重きを置く。5歳児の年間計画に剣道を盛り込み、礼儀作法を中心に学ぶ。また指名した保育教諭1名が体操教室の補助に加え、別で体育に関しての年間カリキュラムを作成し、特に年長児に対して就学までに基礎体力の増進を図る為の指導をする。

英語は引き続きアメリカ人講師の M より指導を受ける。

珠算教室は 3 年目となり、町内の H 氏に引き続き指導を依頼する。

AED の使用方法を皆が把握する。また AED マップの定期的なチェックを行い、講習会にも参加する。また遊具、砂場の安全管理等については昨年より工事の事情により一旦業者の定期的なメンテナンスはストップしており、増改修工事が完了するまでは昨年度同様とする。更に、今迄通り環境整備担当職員が、以前に受講した講習を生かし、年間通してチェックリストに基づき定期的に管理を行う。事故報告については園から子育て支援課への報告様式が統一化されているので、必要な際は提出を忘れない。

その他、学校医は貝塚市澤在住のクリニックの N 医師。学校歯科医は貝塚市畠中の I 歯科医師。学校薬剤師は貝塚市中町の E 薬剤師。

3、保育設備

園舎 . . . 前年度と同様美化に努める。増改修工事中なので部屋間の移動が頻繁になるが、事故のないように気を付ける。園庭使用に制限がある為、子ども達の体力発散方法を考える。美しくなった部屋を大切に使う工夫を行う。

備品 . . . 償却品となった折補い、修繕出来るものは行なうこととする。工事に資金がかかる為、無駄は省く。
・調理室前グリストラップの年 1 回定期点検。(7 月頃) また調理器具や食器類の買い替えを必要に応じて行う。

4、資金の計画

- ・施設型給付費収入と補助金収入で円滑に進める。
- ・幼保連携型認定こども園移行後に 1 号認定者との直接契約もスタートし、全世帯の保護者から保育料も徴収する中、未納者や滞納者への注意喚起は早目に行い、特に卒園後に持ち越すことのないようにする。認定こども園移行前と後の、資金面での (公定価格等も含めて) 変化を引き続き注視する。

- ・増改修については2019年度、2020年度の2か年計画で、補助金は一年目に5%、二年目に95%の割合となる。(各年の実績報告後5月頃入金予定)
- ・増改修については独立行政法人福祉医療機構からの借り入れや、おおぞらこども園からの資金の移動も見込んでいる。

園舎の増改修にかかる資金計画は別紙。

5、その他

- ・急な地震や津波にも対処出来る様、重要書類を貸し金庫に保管する方法の検討や、2～3日分の食料備蓄分を小学校に保管を依頼する。
- ・津波想定 of 避難訓練を年2回実施する。
- ・2020年度もインターネット関連の業務の委託を行い、引き続き、財務諸表や計画報告類等を自園のホームページで情報公開する。
- ・園舎の増改修について、新園舎は4月3日には通電予定で建物の全様がつまびらかになっている。4月～5月に仮使用申請し受理された後に保育室として使用することが出来る。5月末のわきはまこども園まつりを境に旧園舎の改修に入るため、5月の最終週に荷物の運び入れを行う。その後0、1、2歳児の保育室から改修工事に入り、その後3、4歳児、最後に5歳児と事務室の工事と続く。11月に完了検査が通れば引き渡しとなり、その後植木の植樹や倉庫等の設置他、外構工事や建物周りの整備に入り、工事完了が2021年3月15日の予定である。園児居ながらの改修工事となるため、増築工事に比べても事故のリスクは高まるため、工務店との連携、連絡を密にとり、安全に工事を終えることを絶対目標とする。

2019年度末からの新型コロナウイルス感染症による影響が2020年度当初も保育、教育の計画に及ぶことが予想されるが、休園や行事変更や中止の措置については貝塚市の方針に倣うこととする。

以上